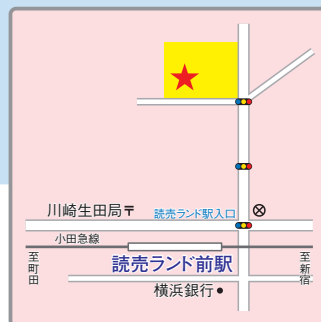


日本女子大学附属 中学校

所在地／〒214-8565 川崎市多摩区西生田1-1-1
TEL／044-952-6705（中高事務室）
学校長／野中 友規子
創立／1901年開校。1979年、西生田キャンパスに中高統合校舎が完成し、中学校が東京・目白より移転。
URL／www.jwu.ac.jp/jhsc

	1年	2年	3年
男子	—	—	—
女子	252名	250名	244名
クラス数	6組	6組	6組

中高総生徒数／1859名 併設小から 約37%



〈交通アクセス〉
小田急線「読売ランド前」駅より徒歩10分
京王相模原線「京王よみうりランド」駅、「京王稲田堤」駅、JR南武線「稲田堤」駅よりバスあり

日本初的女子大学の付属校として自立した女性を育成する

1901年、日本で最初的女子大学として創立された日本女子大学の附属高等女学校を前身に、1948年に新制の中学校として開校しました。学園創立者である成瀬仁蔵が残した「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」を教育方針の三綱領とし、「自ら考え、学び、行動する意欲的な生徒の育成」をめざしています。多摩丘陵の一角に位置する約29万㎡の広大な校地には、中高校舎のほか、中高専用グラウンドに6面のテニスコートや講堂などがあります。

スクールライフ

●教育内容

中学時代は「自ら学ぶ姿勢を育てる」ことを主眼に置き、自主性を重んじた学習への支援体制として個別指導に力を入れています。3期・週5日制で、夏は1時限50分、冬は45分の6時限授業で、土曜日は学校行事や総合的な学習を実施。英語・数学・国語・理科などで1クラス2分割の少人数制授業を実施し、数学では習熟度別授業も行っています。実技教科はチームティーチングを行い、音楽ではバイオリンが全学年必修となっていることも大きな特徴で、音楽を通じた情操教育にも力を入れています。卒業研究では、中3の1年間をかけて個別のテーマに取り組みます。さらに、

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	5	4	4	3	3
2年	5	4	4	4	3
3年	5	4	4	4	4
合計	15	12	12	11	10

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限

※冬（11月～3月）は45分×6時限

◎登校時間：8時50分

マネーガイド

■2025年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	250,000円	0円	102,000円	0円	352,000円
初年度総額	250,000円	511,000円	304,000円	143,000円	1,208,000円

各分野で活躍している卒業生を講師にしたキャリア教室を中3で実施するなど、しっかりとした進路指導体制も敷かれています。

●部活動

中高別に活動しており、計23のクラブがあります。
○文化系／イラスト、インターナショナル、演劇、家庭科、軽音楽、弦楽合奏、コーラス、茶道、社会科研究、書道、生物天文、物理化学、文芸、ミュージカル
○体育系／硬式テニス、水泳、ソフトテニス、体操、卓球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、陸上

●行事

十月祭（中学文化祭）、運動会、音楽会や球技会などが行事委員会を中心に行われています。行事を中学と高校で別々に行うので、十月祭などの行事の準備はすべて中学校の生徒で企画・実行されます。

●修学旅行・研修旅行

全学年で宿泊を伴う校外学習を行っています。中1は軽井沢で夏季寮生活を行い、中2は東北を巡ります。中3は国内外各地から生徒が興味・関心を持ったコース（平和学習や自然学習、海外研修など）を選択。また、希望者を対象にスキー教室を行っています。

◎寄付金：20万円以上と3万円以上の2種類（任意）

◎授業料：3期分納または一括納入

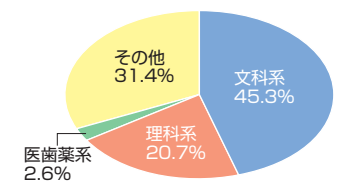
◎奨学金・特待生制度：独自の奨学金制度あり

進学指導の概要

高校では高入生との混合クラスとなります。カリキュラムの最大の特徴は、「しっかりとした基礎学力と応用力を育成」することで、文系・理系などのコースに分けず、高3まで全員が全教科を偏りなく学びます。バランスの取れた知識と教養を身につけることで人間としての豊かさが育まれ、コース分けをしていないことで、進路についてじっくり考えることも可能になります。興味を持った分野の知識をさらに深めるため、高2で週2時間、高3で週14時間の選択科目を設け、フランス語、中国語などの第二外国語、古典、児童文学、現代世界史、情報総合、ディスカッション、声楽、工芸など、幅広い分野をより深く学べるようにし

ています。日本女子大学へは、希望すれば原則として推薦され、多くの定員数が用意されているので、ほとんどの生徒が第一志望の学科に進学することができます。また、医学部、法学部など、日本女子大学にない学部であれば、利用できる併願制度も用意されています。例年約75%の生徒が日本女子大

■現役大学進学者の進路の内訳



★他大学への合格状況(2025年度) 東京大1名、東京芸術大1名、お茶の水女子大1名、東京科学大1名、東京外国語大1名、早稲田大4名、慶應義塾大11名、上智大10名、東京理科大5名、立教大7名、中央大16名、明治大4名、青山学院大10名、北里大5名、武蔵野美術大8名

学へ進学しますが、他大学進学を選んだ生徒を応援する雰囲気もあります。優秀な卒業生の活躍により、多くの大学に指定校推薦枠があります。大学授業見学や研究室訪問、学部学科説明会などの機会が設けられ、担任教員との面談を経て、最適な進路をじっくり選択していくことができます。

■併設大学(日本女子大学)への推薦状況

	文学部	理学部	家政学部	人間社会学部	国際文化学部	建築デザイン学部	食料学部
23年	12名	26名	129名	74名	35名		
24年	30名	17名	96名	70名	33名	33名	
25年	21名	26名	58名	71名	38名	35名	24名

★指定校推薦枠(2025年度) 早稲田大1名、慶應義塾大5名、上智大5名、東京理科大9名、学習院大6名、青山学院大5名、立教大3名、法政大2名、中央大10名、北里大4名、東京歯科大1名など

入試情報

■過去2年間の入試結果

		募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
24年	一般1回	約110	231	199	126	1.6
	一般2回	約40	282	118	53	2.2
	帰国	若干	4	4	2	2.0
25年	一般1回	約90	182	173	100	1.7
	一般2回	約30	183	169	110	1.5
	一般3回	約40	235	115	58	2.0
	帰国	若干	2	2	1	2.0

■2025年度入試 受験者・合格者の教科別平均点

		算数	国語	理科	社会	合計
一般1回	受験者	36.4	37.3	23.4	23.1	120.2
	合格者	43.2	39.5	25.6	24.9	133.2
一般2回	受験者	59.8				59.8
	合格者	73.0				73.0
一般3回	受験者	35.5	38.2	23.5	21.4	118.5
	合格者	43.5	42.2	26.5	24.0	136.1

○配点：算国＝各60点 理社＝各40点／2回 算＝100点
○合格最低点：1回119点 2回54点 3回124点 帰国は非公表

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日／①2月1日午前 ②2月1日午後 ③2月3日午前
帰国2月1日午前

募集人員／女子約160名(①約90名 ②約30名 ③約40名 帰国若干名)

合格発表／ホームページで即日

手続締切／①②③2月5日 帰国2月3日

試験科目／①③国語(50分・60点)、算数(50分・60点)、理科(30分・40点)、社会(30分・40点)
②算数(60分・100点)

面接／帰国生のみあり

帰国生のための試験／国語・算数(①と同じ問題)、面接(個人)

受験料／①③25,000円 ②18,000円(2回同時出願の場合は40,000円、3回同時出願の場合は50,000円)

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約

9月 6日(土)

【授業見学説明会】要予約

10月14日(火)

【オープンスクール】要予約

7月19日(土)、8月23日(土)

【入試体験会】要予約 6年生対象

11月15日(土)、12月 6日(土)

【十月祭(中学文化祭)】要予約

10月 4日(土)、5日(日)

【親子天体観望会】要予約

12月 6日(土)

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOGの声

●自治に積極的な学校です。生徒主体となって動く行事が多く、他学年、他クラスとの交流も盛んです。みんなで協力して準備したものを成し遂げられたときの達成感はとても大きいです。国語の授業で、自分を見つめることや社会問題について考えることなど、回を重ねていくごとに自分のことばで文章を書く力がつきました。ディベートやスピーチなど自分の意見を発表する場面も多く、人の前に立って自分の気持ちを発信する力が身につきます。